

## 平成28年度 森ノ宮医療大学卒業式訓示

卒業生の皆様、ご卒業、誠におめでとうございます。そして、御子様がたの学生生活を支えてこられたご家族の皆様にも心からお祝いを申し上げます。また、本日の卒業式挙行にあたり、御来賓の皆様におかれましては、平素の御指導・御支援に感謝申し上げますとともに本日の御臨席まことにありがとうございます。

さて、皆様は、森ノ宮医療大学での学生生活を終え、今、ここに、晴れの卒業式を迎えられました。様々な思いが皆様の胸を去来していることと思います。振り返れば4年前、この森ノ宮医療大学に入学された皆様は、まだまだ幼さの残る若者でしたが、その瞳は夢と希望に輝いていました。そして4年という月日の中で、優れた師から多くを学び、あるいは学友との様々な経験を通じて、大きく成長されました。本日、さらに輝きを増し、自信に満ちた皆様を見ることができたことは、誠に感無量であり、森ノ宮医療大学教職員一同の誇りでもあります。これからいよいよ、社会という大海原で、学びと経験の真価が問われます。皆様ならその荒波をしっかりと乗り越えていけると確信しております。

本日は保健医療学部3 学科ならびに保健医療学研究科、助産学専攻科 合わせて199 名が無事卒業されます。さらに、これらのうち、鍼灸学科スポーツ特修コースでは、教職課程を修了され、中高保健体育教員免許1 種を取得された者が13名、看護学科では9名の保健師免許の取得予定者がございます。いずれも通常の授業に加え、さらに研鑽を積まれた結果であり、敬意を表したいと思います。

さて、これから皆様がかかわっていく医療の世界には、様々な問題・課題が山積しています。皆様もよく御存知であると思いますが、現在の日本は世界に先駆けて超高齢社会を迎えております。この高齢化問題は抜本的な医療改革を必要とする極めて大きな社会問題です。認知症患者の増加、ADL やQOL に支障をきたした寝たきりや要介護者の増加は医療問題であると同時に、もはや社会問題でもあり、介護方法の改善・地域包括支援制度の充実など医療・福祉分野への期待と改革が求められています。この流れの中で、医療専門職の役割は極めて重要です。理学療法士は、高齢者のADL 維持・QOL改善・介護予防の面で大きな役割を果たします。看護師もまた、高度な先進医療や急性期疾患はもちろんですが、慢性期あるいは療養型病棟での高齢者ケアにおいて、重要な役割を担うでしょう。そして高齢者で増加するがん患者における疼痛緩和、あるいは終末期医療における患者QOL の向上には、鍼灸師がその活躍が大いに期待されます。

このように、各医療専門職は、それぞれの特性・持ち味を生かし、患者そして社会に貢献することができますが、それだけではなく、近年では、それぞれの能力が相加的・相乗的に発揮されるチーム医療の重要性が叫ばれています。本学ではチーム医療の大切さに教育の力点を置き、チーム医療の一翼を担える医療人育成を心掛けてきました。医療現場では他職種連携・専門職連携がチーム医療として実践されています。皆様はそれぞれ、理学・看護・鍼灸の専門職ですが、自分の専門分野に閉じこもるのではなく、他の専門職を知ることがまずチーム医療の入り口です。そして他職種とコミュニケーションを取りながら、患者とその家族をチームで支える・・・本学の特徴である“学科を超えた学び”を経験した皆様は、他医療職への理解も深く、必ずやリーダーシップをもってチーム医療をけん引してくれるものと期待しております。

さて、皆様が身を置く医療の世界には様々な問題がありますが、一方で、医学の進歩は歩みを止めません。近年の日本の医学研究の発展は目覚ましく、ここ数年、ノーベル生理学・医学賞部門でも日本人受賞者が続いています。昨年は大隅博士がオートファジーの発見で、一昨年は大村博士がイベルメクチンの発見で受賞されています。日本の医療に携わる者として、大変誇らしく思います。大村博士の言葉は大変ところにひびきました。「積極的に経験を積むこと。経験が多ければ多いほど、自分自身で考えて物事をやっていく自信につながる」・・・研究者・科学者としての言葉ではありますが、医療人としての成長もまさにこの通りだと思います。受け身ではなく、積極的に多くの症例を実地で経験することが、次の症例への自信につながります。是非、心に刻んで頂ければと思います。

本日、皆様は晴れて卒業を迎えました。しかし、これは決してゴールではなく、ようやくスタートラインに立ちました。皆様には、これまでの学び・培った経験があります。自信を持って前に進んでください。本学では、「いのちへの愛と畏敬」を学園の精神とし、「人によりそい幸せを希う」、これを基本理念としています。自信を失いそうになった時、心が折れそうになった時、医療人としての目的を失いかけた時、もう一度この思いを新たにすれば、苦境も必ずや乗り越えることができると信じております。

森ノ宮医療大学は10周年を迎えました。皆様が築いてくれた礎をもとに、さらに10年、20年後を見据え発展しようとしています。今年度は臨床検査学科、作業療法学科、助産学専攻科が発足し医療系総合大学として益々の充実いたしました。皆様がこれから医療人として成長していくと共に、本学もまた、皆様が誇りを持てる大学に発展させていく所存です。そして、皆様の母校、森ノ宮医療大学の扉はいつでも大きく開いていることも忘れないでください。卒業後でも、困難に直面された時、いつでも母校の教職員は暖かく皆様に寄り添います。

今後の皆様の大きな飛躍と素晴らしい人生を祈念し、ご卒業のお祝いの言葉とさせていただきます。ご卒業、誠におめでとうございます。

平成29年3月16日  
森ノ宮医療大学 学長 荻原俊男